

## 主な導入製品

■コントロールルーム管理システム

## KSC ControlRoom

■コントロールルーム制御システム

## KSC Control Panels

■汎用I/Oコントローラ

## KSC GPIO Controller



## ドイツ ラインラント・プファルツ州警察 マインツ警察本部に新しい表示システムを導入

### Introduction

ラインラント・プファルツ州では、大規模な技術・組織開発プロジェクトが実施されていました。

これには、マインツ警察本部の管理・状況センターが、すべての組織単位の中央サービス・管理センターとして、また一般市民、当局、機関への窓口が含まれています。構造的な発展や新しいデジタル技術に対応するために、リニューアルが必要でした。

そのため、マインツ警察本部は、現在および将来の要件に対応できる新しい映像・可視化コンセプトを開発することを課題としました。

ゼネコンとしてBFEは、計画・施工・試運転までを担当しました。

### The Task

マインツ警察本部の司令室には、コントロールセンターとして、配備割り当てシステム、要求・切り替え技術などが装備されています。

警察ネットワークでは、地図、航空写真、状況表示、トンネル監視だけでなく、情報グラフィックやテキスト、講義のサポートなど、さまざまな表示チャンネルで視覚的な情報表示が求められます。

また、衛星や携帯電話による測位システム、電子監視、テレビ画像の表示、データキャリアの再生など、外部ソースとの連携も重要です。

将来的には、車両の状態表示、救急隊の位置表示、強盗・空き巣の画像信号の送信なども考慮する必要があります。

### The Solution

BFEは、グラフィックユーザインターフェースを用いて、複数のワークステーションで映像システム全体を同時に制御するコンセプトを開発しました。

ここでは、すべての画像信号と音声信号、およびすべての表示画面を、空間とスイッチング状態を考慮して表示します。

従業員は、それぞれの業務に応じて、ユーザ関連の異なる役割と権限を持つグループで行動します。

ルータは、外部の場所やネットワークに依存せず、信号の入出力を行うためのさまざまな接続を提供します。

設定と管理は管理ツールで行い、権限や役割、ドキュメントなどシステム関連の設定を変更することができます。

大型ディスプレイのほか、オペレーションルームにもディスプレイを設置。

中央のKVMマトリックスと連結により、柔軟な使用方法が選択できます。

このシステムは、KSC ControlRoom視覚化システムを介して便利に制御され、定義されたすべての信号シンクを切り替え、接続されたすべてのデバイスのステータス情報と信号を配信します。

確認は常にリアルなステータスで行われます。

# BFE

#### ■ BFE社

BFEは、ITを駆使したスタジオ・メディア・システムのための優れたソリューションを提供しています。

放送、産業、教育、ビジネスの分野で、国際的な顧客のためのコンサルタントや開発者、システムインテグレータ、サービスパートナーです。

国際的なシステムインテグレータとして、スタジオシステム、放送用車両、メディア技術ソリューションの分野で複雑な開発・企画などを行っています。技術的に優れているだけでなく、費用対効果に優れた結果を提供します。

<https://www.bfe.tv>

## The Highlight

- 12台のディスプレイを備えた大画面ディスプレイエリア。  
モニタウォールは2分割設計で、コントローラコンピュータを二重化して装備しています。  
これにより、画面コントローラが故障した場合でも、1点集中型の表示を防ぐことができます。  
残りのコンポーネントは引き続き動作します。
- KVMマトリックスの出力信号を最大12まで同時に壁面モニタに表示することが可能です。  
あらかじめ設定され、ソフトウェアから自動的に呼び出すことができるデフォルト・プリセットにより、2x2ディスプレイにまたがって表示することができます。  
たった1つのインターフェースでアプリケーションを実現しました。
- 4:1マルチビューでは、さらに4分割表示が可能です。  
これにより、最大15本の映像信号をモニタウォールに表示することができます。
- モニタウォールは、アルミ製支柱とクロスプロファイルからなるBFE特別設計で、背面には19インチ設置オプション、ケーブル配線が可能なケーブルダクト、パンチングシート製の背面パネルが装備されています。
- 音響的に最適化されたサイドボードをモニタの下に組み込み、拡散する室内音を吸収するとともに、収納スペースを確保しました(その他の家具はすべて備え付け)。



### 機器の詳細

- ・ BARCO 46インチディスプレイを12台設置した大画面ディスプレイエリア
- ・ 12系統の出力信号のKVMマトリックス
- ・ DVIスプリッター12台 (1:29)
- ・ 自動色校正・自動輝度校正システムを搭載したモニタ
- ・ KVMマトリックスの出力信号をモニタウォール上に最大12出力同時表示可能
- ・ プリセットされた画面表示をKSC ControlRoomで自動的に呼び出すことが可能
- ・ 4:1マルチビューによる4分割の追加表示
- ・ 36台のディスプレイを追加し、さらなるアプリケーションルームを実現
- ・ 3台のスマートボード(84インチ、70インチ)を追加表示面および信号源として使用可能
- ・ モニタウォール、サイドボードはBFE社による特注品
- ・ 数十年にわたるプロフェッショナルな放送ITの経験に基づくコントロールソリューションとして、KSC ControlRoomを使用

### テクノロジー

- ・ BARCO製46インチ OVD4621大型スクリーン12台
- ・ BARCOスクリーンコントローラのリダンダント化
- ・ BFEモニタウォール(46インチディスプレイ12台用)
- ・ マルチレベル圧縮アルゴリズムにより最高レベルのデータレートを実現し、HDビデオの優れた画質とスムーズな再生を実現。
- ・ Samsung製ディスプレイ(55インチ)6台とJBLサウンドバー
- ・ SMART社製84インチおよび70インチホワイトボード3台
- ・ 富士通製サーバと15台のクライアントを冗長化したKSC ControlRoomコントロールソリューション
- ・ 富士通製22インチディスプレイ36台
- ・ フィリップス製テレビ3台とパナソニック製BDレコーダー
- ・ 80ポートKVMマトリックス(Flex-Port技術搭載)
- ・ 最大1920x1200のDVI信号およびUSB-HIDを最大10kmまで伝送するExtender。
- ・ APANTAC製Tahomaマルチビューワ 4:1
- ・ HP製スイッチによる冗長化ネットワーク

2022年11月作成